

～身近な動物や虫による被害を防ぐための基礎知識～



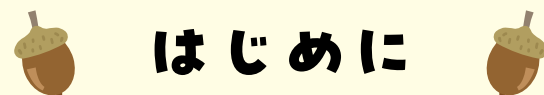
一人では守れないから、地域みんなで。

地域ぐるみで取り組む
**鳥獣・害虫被害
対策ガイド**



越谷市





はじめに

近年、野生の鳥や獣による農作物や家屋の被害に加えて、
害虫による被害も心配されています。
この冊子は、「被害を減らすためにできること」をまとめたガイドです。



もくじ

はじめに P1

どうして鳥獣・害虫被害が増えているの? P2

まず相手を知ることから始めよう P3

エサと隠れ場所をなくす環境対策 P4

主な被害・動物の生態①

～カラス・ハト・ムクドリ～ P5

主な被害・動物の生態②

～アライグマ・ハクビシン・タヌキ～ P7

主な被害・害虫の生態①

～クビアカツヤカミキリ～ P9

主な被害・害虫の生態②

～セアカゴケグモ～ P11

主な被害・害虫の生態③

～イネカメムシ～ P13

外来生物の対応

～ミシシippアカミミガメ・アメリカザリガニ～ ... P15

外来植物の対応

～アメリカオニアザミ・ナガミヒナゲシ～ P17

越谷市で守るべき希少植物

～コシガヤホシクサ・フジバカマ・キタミソウ～ ... P19

どうして鳥獣・害虫被害が増えているの？

動物にとって「居心地のよい場所」とは？

野生動物が田畑や人家の近くに現れるのは、突然性格が変わったからではありません。
多くの場合、私たちの暮らしや土地利用の変化によって、「安心して隠れられる場所」と
「おいしいエサが簡単に手に入る場所」が、人の生活圏の中に増えてしまっていることが
原因です。

耕作放棄地や空き家、収穫しない果樹や畑の残渣（ざんさ）などは、動物にとっての
“レストラン”と“寝ぐら”をセットで提供してしまうようなもの。カラスやアライグマは、
果樹の実・生ゴミ・蜂蜜などの匂いに強く引き寄せられます。

隠れ場所チェック

次のような場所が、家や田畑の近くにありますか？

- ☐ 空き家や納屋に、荷物や木材が置きっぱなしになっている
- ☐ 耕作していない田畑が、草や竹に覆われている



こうした場所は、動物にとって安心できる隠れ家になります。
空き家や床下まわりは
シロアリなど害虫のすみかになることもあります。

エサ場チェック

次の項目もチェックしてみましょう。

- ☐ 生ゴミを家の外に置いている
- ☐ コンポスのふたが甘い
- ☐ 家のまわりに古い木材やダンボールを、地面に直接置いている
- ☐ 収穫していない柿・栗・みかんなどの果樹がある
- ☐ 規格外の野菜や果物を、畑の隅に山積みになっている
- ☐ くず米や粃殻を、屋外にむき出しで保管している



一つでも当てはまる場所があれば、
そこはカラスやアライグマなどにとって
魅力的なエサ場になっているかもしれません。
また、木材やダンボールは、シロアリなど
害虫のエサ場・隠れ家になり、
住まいの被害につながる可能性があります。

まず相手を知ることから始めよう

足跡・フン・食べ跡を見よう

被害を減らすには、「どんな動物が」「どこで」「何をしているか」を知ることが大切です。足跡やフン、食べ跡がその手がかりになります。

足跡の特徴

タヌキ… 小さな手形。柔らかい土にまとまって残る

アライグマ… 指が長く、人の手のような形

ハクビシン… 5本指で掌球と指が離れている



フンの特徴

中型獣… 細長く曲がった形。同じ場所に何度もすることがある

アライグマ… 細長く、同じ場所に大量にする

ハクビシン… 黒や茶褐色をしており、未消化の果物の種や野菜が含まれる

食べ跡の例

アライグマなど… トウモロコシの実だけきれいに取られ、軸だけ残る

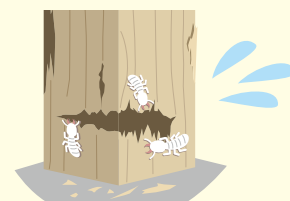
ハクビシン… 歯形は鋭く、刺したような跡

シロアリなど… 柱や床の表面がボソボソし、周りに木くずがある



害虫（シロアリなど）のサイン

- 家の柱や床板のそばに、細かい木くずが落ちている
- 壁や基礎に、土でできた細い筋（蟻道）がついている
- 羽のついたアリのような虫が、室内にたくさん出てくる



こうしたサインを見つけたら、
自分で薬をまかず、専門業者に相談しましょう。

アライグマやハクビシンを見かけたときの注意

- 近づかない
- 追いかけない
- 写真を撮ろうとしない（近づくと襲ってくる恐れがあるため）



エサと隠れ場所をなくす環境対策

無意識の“エサやり”をやめよう

私たちが「ゴミ」や「残りもの」と考えているものも、アライグマ・ハクビシン、カラスにとってはごちそうです。害虫も、残渣や生ゴミから増えやすくなります。

次の点を見直してみましょう。

- 生ゴミやペットフードはフタ付き容器に入れ、屋外に放置しない
- 収穫しない果樹は、剪定や伐採をふくめて整理する
- 規格外の野菜や果物は畑に捨てず、家畜のエサや堆肥などに利用する
- くず米や粃殻は袋に入れ、倉庫や屋内で保管する
- 家のまわりに古い木材やダンボールを置きっぱなしにしない（害虫対策）

ごちそう♪



「エサがなければ、わざわざ来ない・寄りつかない」
この状態を目指すことが、被害を減らす近道です。

隠れ場所をつくらない

動物は周囲から見えにくい場所を好みます。アライグマやハクビシン、タヌキなどのほか、害虫も暗く湿った場所にすみつきやすくなります。

家や畑に、次のような場所がないか確認しましょう。

- 胸の高さ以上に伸びたままの草
- 耕作していない田畑が草や低木に覆われている
- 空き家や古い小屋の扉・窓が壊れたままで、中が暗く見えない
- 竹やぶが、家のすぐ裏まで張り出している

周囲の
確認を



対策の例

- 年に数回の草刈りを計画する
- 使っていない田畑の借り手や共同利用の可能性を話し合う
- 空き家・空き小屋は扉や窓を閉め、動物が入り込まないようにする
- 竹やぶや雑木林は、間伐して見通しをよくする
- 空き家や床下に木材や不要物をためこまず、湿ったままにしない（害虫対策）

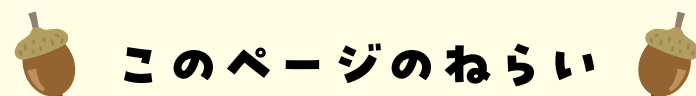
環境づくりと住まいの工夫

- 柿などの果樹は放置せず、収穫・剪定を行い、家のそばにエサ場をつくらない
- 生ゴミや残渣、ペットフードを外に置きっぱなしにしない
- 雨漏りや床下の湿気、家まわりの木材放置を防ぎ、シロアリがすみつきにくい家にする

こうした環境づくりが、アライグマやハクビシンなどの鳥獣被害だけでなく、
住まいの害虫被害を減らすことにもつながります。

主な被害・動物の生態 ①

～カラス・ハト・ムクドリ～



毎年、春から初夏にかけてカラスは繁殖期を迎えます。

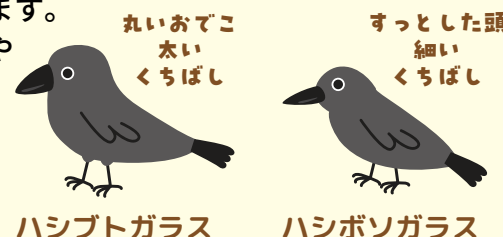
この時期は親鳥がヒナや巣を守るため、近くを通る人に威嚇や攻撃をしてることがあります。自身ができる対策について見直してみましょう。

カラス

(ハシブトガラス・ハシボソガラスなど)

記憶力が良く、簡単な対策にはすぐ慣れてしまう、頭のよい鳥です。生ゴミ、落ち穂、畑の野菜くず、果樹など、身の回りの多くのものがエサになります。

電線や高い木の上から畑やゴミ置き場を見張り、「エサのある安全な場所」と覚えると、繰り返し通います。



その他の害鳥の例



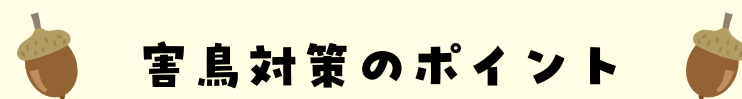
ハト

ベランダや建物のすき間に巣を作ります。営巣時期は4月～6月頃で、卵を産んでから巣立つまで約1ヵ月かかります。



ムクドリ

夕方に街路樹などへ、大群でねぐら入りします。特に6月～10月頃には「夏ねぐら」を形成し、百羽以上が集まります。



巣づくりされやすいすき間や棚の上をふさぐなど、こまめに掃除をして居心地を悪くします。農地では、防鳥ネットやテープ・糸などを活用し、「ここは近づきにくい場所」と鳥に感じさせる工夫をします。



よくある被害の例

- ゴミ袋をつつかれ、中身が散乱して不衛生になる。
- 収穫前のトウモロコシや果樹が食べられる。
- 建物の上でフンを落とし、汚れや悪臭の原因になる。
- ムクドリなどが電線や街路樹に大群でとまり、フンと鳴き声により周辺の生活環境が悪化する。



CHECK!!

カラス・ムクドリなどの害鳥の基本的な対策

ゴミ出しルールを守り、**防鳥ネットでゴミ袋をしっかりと覆う。**

落ち穂や野菜くずを畑に残さず片づけ、エサ場をつくらない。

庭の樹木の剪定や巣の材料となる針金ハンガーを片付け、巣づくりをしにくくする。

電線にとまっている場合、電柱を木づちなどでたたく。

巣やねぐらへの対処

庭の樹木の剪定、巣づくりされやすいすき間や棚の上をふさぐ、**こまめに掃除をして居心地を悪くする。**

ねぐらになっている**木の下**の落ち葉やフンを片づけ、周辺の照明を調整するなどして、**長期的に居づらい環境に変えていく。**

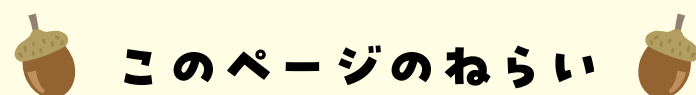
カラスが巣づくりを始めたらすぐに撤去する。
(巣にヒナや卵が無い場合は、許可不要で撤去可能です。)

カラスの巣を見かけたら

【電柱・電線の場合】カラスの巣が停電を引き起こす恐れがありますので、東京電力パワーグリッド株式会社(0120-995-007)にお問い合わせください。
【公共施設や街路樹の場合】施設や街路樹を管理する部署へお問い合わせください。

主な被害・動物の生態 ②

～アライグマ・ハクビシン・タヌキ～

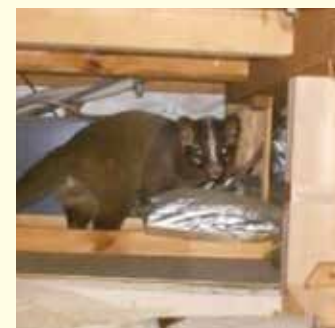


夜に動き回り、人家の近くにもすみつきやすい
「中型の動物たち」の暮らし方を押さえます。

共通点は「雑食」「夜行性」「人の暮らしのすぐそばまで来る」ことです。

アライグマ (特定外来生物)

中型犬ほどの大きさで、しま模様のしっぽが大きな特徴です。木登りや壁登りが得意で、屋根裏や天井裏に入り込む被害が多く見られます。夜になると人通りの少ない時間帯を選んで動き、ゴミ置き場やペットのエサを狙うこともあります。



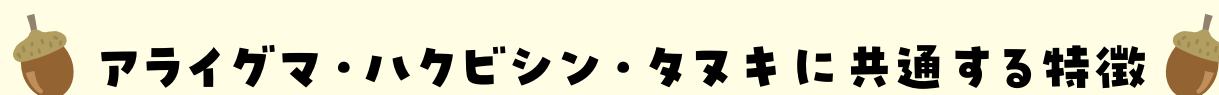
ハクビシン (外来生物)

鼻の真ん中を通る一本の白い線が特徴の細長い動物です。木登りが得意で、電線を綱渡りしたり、8cm程度の隙間があれば頭をねじ込んで侵入してしまいます。雑食性で、特に甘い果物が大好物です。



タヌキ (在来種)

ミミズ・昆虫・カエル・果実・残飯など、さまざまなものを食べる雑食性の動物です。ヤブや用水路沿いなど、人の生活圏のすぐ近くにもすみつきます。



いずれも夜の活動が中心で、人が寝静まった時間帯に動き回ります。森林だけでなく、家の庭や空き家周辺など、人の生活圏のすぐそばにもすみつきます。「エサになるもの」と「身を隠せる場所」がそろえば、同じ地域に居つきやすくなります。



よくある被害の例

- 畑の野菜や果実が食べられる、掘り返される。
- ゴミ袋を破られ、中身が散らかってカラスやハエを呼び込む。
- アライグマやハクビシンが屋根裏や天井裏に入り込み、フン尿による悪臭や天井のシミ・抜けの原因になる。



CHECK!!

被害を減らすためのポイント

生ゴミ・残ったエサ・落ちた果実など、
エサになりそうなものを外に放置しない。

ゴミ置き場にはネットなどを使い、簡単に荒らされないようにする。

家の周りのヤブや物置き周りを片づけ、
動物が隠れやすい場所を減らす。

床下換気口や軒下のすき間、
屋根裏への出入口になりそうな穴は、**金網などでふさいでおく。**

相談の
すずめ

市では外来生物による家屋や農作物に被害がある場合、捕獲用の箱わなを無料で設置しています。
詳細は **環境政策課 (048-963-9183)** までご連絡ください。

【お急ぎの場合】防除業者をお探しの場合は、
一般社団法人 埼玉県ペストコントロール協会 (048-854-2890) へお問い合わせください。なお、費用につきましては、ご自身のご負担となりますので、あらかじめご了承ください。

主な被害・害虫の生態 ① ～クビアカツヤカミキリ～

このページのねらい

外来カミキリムシ「クビアカツヤカミキリ」による被害は
埼玉県内で拡大傾向にあり、
越谷市内でも平成 29 年（2017 年）以降、
谷古田河畔緑道、瓦曽根堰など成虫の発見箇所が増えています。
幼虫が樹木に寄生すると植生悪化を招くため、
正しい情報を基に対策しましょう。

クビアカツヤカミキリ

中国やモンゴル原産の外来種で、日本では 2012 年に初めて確認されました。体長は約 2.5 ～ 4cm。全体的に光沢のある黒色をしています。胸部（首の部分）だけが鮮やかな赤色をしているのが最大の特徴です。サクラやモモなどバラ科の樹木を好み、幼虫が木の内部（木質部）を数年にわたって食い荒らし、最終的に木を枯死させます。繁殖力が非常に強く、1 匹のメスが数百個の卵を産むため、特定外来生物に指定され、全国で急速に分布を広げている極めて危険な害虫です。成虫は、6 月～8 月に樹木の外に現れ、産卵します。



オス成虫

メス成虫

寄生された樹木の状況

寄生された樹木には、
直径 4 ミリ程度の穴が開いており、
根元には「フラス」と呼ばれる木くずと
フンが混ざったものがたまります。

成虫やフラスが出ている樹木を見つけたら、
環境政策課（048-963-9183）までご連絡ください。



拡大写真

フラスを
見つけたら
要注意!!

成虫を見つけた場合は、踏むなどして直ちに捕殺してください。

寄生された樹木を確認する必要があるため、写真データの送付などをお願いする場合がありますので、ご協力をお願いいたします。

寄生する樹木の例

サクラ・ウメ・モモ・プラムなどのバラ科の樹木



もし近くのこれらの木に「大量の木くず」が
落ちているのを見つけたら、
それはクビアカツヤカミキリがいる
サインかもしれません。



木くずが
サイン!!

よくある被害の例

- 果樹を好むため、農家にとっては、収穫量の減少の原因となる。
- 幼虫が樹木内部を食い荒らすため、強度が下がったことで台風での倒木につながる。



- サクラ並木でサクラの木が伐採される。

CHECK!!

クビアカツヤカミキリの基本的な対策

成虫を見つけた場合は、踏むかつぶすかして駆除する。

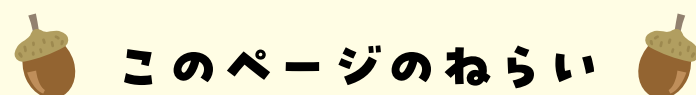
幹の地上から 2m 程度の範囲に
細かいメッシュの防虫ネットを隙間なく巻き付ける。

フラスができている樹木に薬剤を注入する。（管理者にて実施する）

クビアカツヤカミキリなどの特定外来生物は以下のことが禁止されています。

・生きたまま運ぶ ・他の場所に放す ・飼育する
捕まえようとせずに、市販の殺虫剤で駆除、または靴などで踏み潰して、
環境政策課（048-963-9183）までご連絡ください。

主な被害・害虫の生態 ② ～セアカゴケグモ～



セアカゴケグモは
人の生命または身体に影響を与える恐れがあるため、
特定外来生物に指定されています。

毒を保有しているため、正しい知識を身につけた上で対処しましょう。

セアカゴケグモ

オーストラリア原産の特定外来生物で、1995年に大阪で初めて発見されて以来、現在は日本各地に定着しています。メスは体長約10～15mmで全体的に黒く、腹部の背面に鮮やかな赤い模様があるのが最大の特徴です。一方、オスは3～5mmと小さく褐色で、毒性はありません。

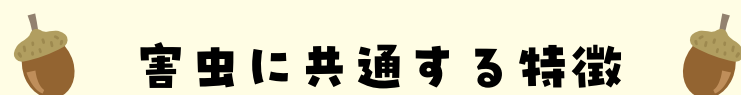
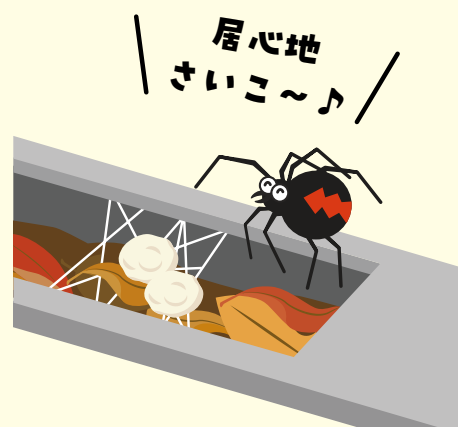
日当たりが良く暖かい場所の隙間を好み、ベンチの裏や側溝、自動販売機の底部などに巣を作ります。基本的におとなしい性格ですが、素手で触れたり驚かせたりすると、身を守るために咬みつくことがあります。



セアカゴケグモの巣は一般的な蜘蛛の巣のようなきれいな車輪型（円網）ではありません。

綿菓子がちぎったような不規則な立体網が特徴です。地面から近くて薄暗い隙間に巣を作りますが、糸が非常に強く粘り気があるため、枯れ葉などが引っかかっていることも多いです。

※似ている在来種の「ヒメグモ」などもありますが、背中が黒くて赤色の筋があるものはセアカゴケグモと判断しましょう。



「エサ」と「すみか」がそろった場所では、
毎年同じような被害が繰り返されやすくなります。
早い段階で異変に気づき、被害が拡大する前に対策することが重要です。

〈よくある被害の例〉

- 咬まれた直後から針で刺されたような痛みが生じ、時間とともに患部が腫れて熱を持つ。
- 数時間後に発汗、吐き気、頭痛、発熱などの症状が現れることがある。
- 重症化すると、腹筋や胸筋の硬直、筋肉の痛みや痙攣を引き起こす。



CHECK!!

セアカゴケグモの基本的な対策

庭の手入れや側溝、室外機周りの作業時は
軍手や手袋を着用する。

見つけた場合は素手で触らず、
市販の殺虫剤を吹きかけるか靴で踏みつぶす。

蜘蛛の巣をこまめに取り除き、
家の周りの隙間や落ち葉、ごみを片付けて、
隠れ家となる場所を減らす。

もしセアカゴケグモに咬まれてしまったら

セアカゴケグモは攻撃性はありませんが、
素手で触ろうとすると咬まれることがあります。

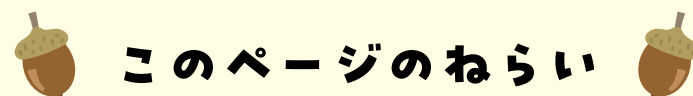
咬まれた箇所を水や石鹼で洗い流し、
速やかに医療機関（皮膚科や内科）を受診しましょう。

受診の際は、咬んだクモの種類がわかるように、
駆除した個体またはその写真を持参してください。

セアカゴケグモを見つけたら、捕まえようとせずに、市販の殺虫剤や靴などで踏み潰して駆除し、環境政策課（048-963-9183）までご連絡ください。

主な被害・害虫の生態 ③

～ イネカメムシ～

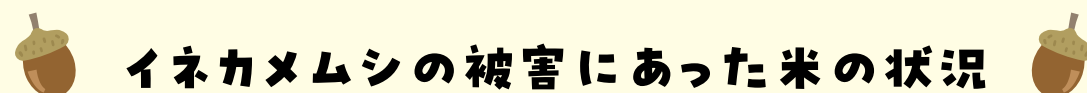


近年、埼玉県内において、イネカメムシの発生が拡大傾向にあり、越谷市においても発生が確認されております。

イネカメムシは、稲穂を加害し、発生量が多いと水稻の大幅な減収となる可能性があるため、正しい知識を身につけた上で対処しましょう。

イネカメムシ

イネ科植物、特にイネを好むカメムシの一種です。体長は約12～15mmで、細長い体形と、稲藁（いなわら）に紛れるような地味な茶褐色が特徴です。頭部が尖っており、全体的に地味な見た目ですが、米の品質を左右する害虫です。夜行性が強く、昼間は稲の株元に隠れてじっとしているため、一見すると発生に気づきにくい厄介な性質を持ちます。出穂（しゅっすい）時期に合わせて水田に飛来し、若い籾（もみ）から吸汁して大きな被害をもたらします。



イネカメムシの被害にあった米の状況

通常、お米が実るとその重みで穂は垂れ下がります。

しかし、穂が出た直後から初期（出穂期～乳熟期）にイネカメムシに激しく吸われると、中身が成長できず空っぽになり穂が垂れ下がらなくなります。

また、イネカメムシは米の根元を集中攻撃し、吸われた跡が黒く変色します。見た目が悪いため検査で米の等級が下がってしまいます。



イネカメムシによる
斑点米の被害

よくある被害の例

- 籾を吸汁された跡が黒い斑点になり、米の見た目が著しく悪化する。
- 穂が出た直後の早い段階で吸汁されると、中身が入らず米の収穫量が低下する。
- 被害を受けた米は割れやすかったり、炊き上がりの品質が悪くなったりするなど、食用としての価値も損なわれる。



CHECK!!

イネカメムシの基本的な対策

水田周辺の雑草で繁殖するため、
出穂の**2週間前までに周辺の草を刈り取り**、住処を奪う。

穂が出た直後の「吸汁されやすい時期」を狙って
薬剤を散布する。

昼間は見つけにくいので、
**早朝や夕方に株元を揺らして確認するなど、
丁寧にモニタリングする。**



稲株の早期すき込みについて

イネカメムシは越冬に向けて養分を蓄えるため、9月から10月に盛んに吸汁します。収穫後の再生株をそのまま残すと餌の供給源になってしまうため、収穫後は速やかにすき込みましょう。早期すき込みは、イネカメムシ対策の他にも様々な効果があります。

その1

有機物の分解が促進されるため、酸欠による初期生育の遅れが起きにくくなります。

その2

ヒメトビウンカ、ミナミアオカメムシ、フタオビコヤガ等の害虫の生育場所をなくすことで、翌年の害虫発生を抑制できます。

外来生物の対応

～ ミシシippアカミミガメ～ ～ アメリカザリガニ～



このページのねらい



近年ではミシシippアカミミガメとアメリカザリガニは条件付特定外来生物としての認知度が上がってきましたが、その生態数はいまだ増加傾向です。

身近な自然の中に生息する

これらの危険性や対処法をきっちりと理解しましょう。

ミシシippアカミミガメ

北米原産のカメで、幼体は「ミドリガメ」の名で親しまれています。最大の特徴は目の後ろにある鮮やかな赤い斑紋です。成長すると30cmほどになり、寿命は30～40年と非常に長生きです。性質は極めて頑健で、水生植物から魚、昆虫まで何でも食べる貪欲な雑食性です。かつて大量に輸入されましたが、野外への放出が相次ぎ激増しました。現在は「条件付特定外来生物」に指定され、飼育は可能ですが、放流や売買は厳禁です。在来種のニホンイシガメを駆逐する要因となっています。



アメリカザリガニ



北米原産の甲殻類で、真っ赤な体色と大きなハサミが特徴です。当初はウシガエルの餌として導入されましたが、全国に定着しました。性質は極めて攻撃的かつ強靱で、泥の中や低酸素状態でも生存可能です。食性は幅広く、小魚や水草を食べるだけでなく、ハサミで水草を切り刻んで環境を一変させてしまいます。2023年より「条件付特定外来生物」に指定され、野外への放出や販売が禁止されました。日本の里山の生態系を脅かす代表的な外来種です。

よくある被害の例

ミシシippアカミミガメ

- ニホンイシガメ等の餌や住処を奪う。
- 希少な水生植物やハスの芽を食い尽くす。
- サルモネラ菌を有しており、接触による食中毒の恐れがある。

野外へ放出ししない/
捕まえない!!

NG!!



アメリカザリガニ

- 希少な水生昆虫やオタマジャクシを食べる。
- 魚の隠れ家や産卵場となる水草を切る。
- 畔道に穴を掘り、田んぼの水漏れを招く。



CHECK!!

ミシシippアカミミガメの基本的な対策

飼い主が寿命まで責任を持ち、
絶対に野外に逃がさないようにする。

浮島上の罟を設置し、日光浴に集まる個体を一括捕獲する。

ハスの群生地をネットで囲い、カメの侵入を物理的に遮断する。

被害が疑われる場合や、自分では判断が難しい場合は、
専門業者の点検を受ける。

アメリカザリガニの基本的な対策

池などの水を抜き、天日干しにすることで
泥の中に潜む個体を駆除する。

餌を入れたかご罟を多数設置し、
短時間で密度を大幅に下げる。

泥のついた靴や道具を介した卵や稚体の拡散を防ぐため、
清掃を徹底する。

外来植物の対応

～ アメリカオニアザミ～ ～ ナガミヒナゲシ～



このページのねらい



身の回りにはきれいな花を咲かせるいろいろな植物がありますが、生態系等への被害を及ぼす恐れがあるため、生態系被害防止外来種として「入れない、捨てない、拡げない」の遵守が必要な植物が存在します。
今回は「アメリカオニアザミ」と「ナガミヒナゲシ」を取り上げ、繁殖期や正しい駆除方法について整理します。

アメリカオニアザミ

全身が鋭く硬いトゲに覆われた、高さ 1.5m ほどに成長する外来植物です。葉や茎、花の付け根にまで及ぶ強烈なトゲは、厚手の革手袋さえ貫通し、人間やペットに怪我を負わせます。夏に咲く紫色の花からは大量の綿毛が舞い、驚異的な繁殖力で在来種を駆逐。農地や庭に侵入すると景観を損なうだけでなく、家畜が食べられないため放牧地も荒廃させます。一度根付くとトゲのせいで抜根が難しく、極めて厄介な侵略的外来種です。



ナガミヒナゲシ



オレンジ色の花が愛らしいナガミヒナゲシは、細長い実が特徴のケシ科の植物です。一株から最大 15 万粒もの種を放出する驚異的な繁殖力を持ち、アスファルトの隙間でも育ちます。根から他の植物の成長を妨げる物質を出す「アレロパシー活性」が強く、在来種を駆逐して生態系を脅かします。また、茎から出る液体には毒性があり、素手で触れると皮膚炎を起こす恐れがあるため、可愛い見た目とは裏腹に警戒が必要な外来種です。

よくある被害の例

- 棘でケガをした。
- ペットや家畜が食べて体調を崩した。
- 茎から出る液体で皮膚が炎症を起こした。
- 庭のあらゆる場所で繁殖している。



CHECK!!

アメリカオニアザミの基本的な対策

綿毛が飛ぶことによって被害が拡大するため、
花が咲く前に抜根する。

再繁殖を防ぐため、**根元から刈り取る。**

棘がとても鋭いため、触れる際は厚手の長袖・長ズボンに加え、
厚手のゴム手袋を装着する。

切った個体を放置すると、そこから種が成熟して飛散するため、
処分の際は必ずごみ袋に密閉した上で可燃ごみとして処分する。

ナガミヒナゲシの基本的な対策

茎を折ると出る黄色の液体は、
触れると皮膚炎を引き起こすため、素手で触らないようにする。

花が終わり実が茶色になると、
少しの振動で実の中にある種が零れ落ちるため、
花が咲いている間に伐根する。

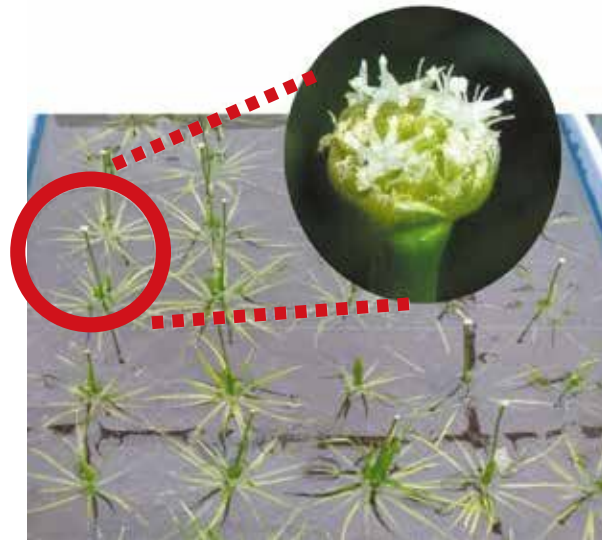
実がすでに茶色い場合は、
先に実の部分を袋で覆ってから切り取る。
その後全体を密閉して可燃ごみとして処分する。

～ コシガヤホシクサ ～

【 コシガヤホシクサとは？ 】

コシガヤホシクサは、ため池の岸辺、河原や、水中に育つ水草の一種です。8月から9月に白い星型の小さな花をつける植物で、越谷で発見されたことから、「越谷星草」という名前がついています。

植物の特徴としては、細い葉が束になって生えており、草の大きさは十数センチほどです。毎年、春に芽を出し、冬に枯れて種を落とす「一年草」です。



花を咲かせたコシガヤホシクサ

【 越谷での発見から野生絶滅まで 】

コシガヤホシクサは、昭和 13 年に昔の越ヶ谷町の元荒川付近で発見され、翌年、新種のホシクサとして発表されました。このとき、発見した地名からコシガヤホシクサと名づけられましたが、その後、越谷市周辺では見られなくなりました。

昭和 50 年には、茨城県下妻市の砂沼という農業用のため池で再発見されましたが、ため池の環境の変化により、平成 6 年に野生のものは絶滅してしまいました。しかし、残されていた種から、国立科学博物館筑波実験植物園などの関係機関により、砂沼で野生に戻す取組が現在でも進められています。

【 越谷市での取組 】

越谷市では、「越谷」の名を持つ貴重な植物であるコシガヤホシクサを、越谷の地で野生に戻すことを目指し、平成 23 年から種を増やすための栽培を行っています。また、平成 26 年からは、最適な生育環境を調べるために、葛西用水で生育試験を行っています。これらの取組により、コシガヤホシクサを含むかつての豊かな自然環境が戻ることを期待しています。



コシガヤ
ホシクサの種

～ フジバカマ ～

【 フジバカマとは？ 】

埼玉県レッドリスト 絶滅危惧ⅠB 類に登録されており、関東以西の本州、四国、九州の川の土手などに野生する高さ 1 ～ 1.5 m の多年草です。また、万葉集にも歌われている秋の七草の一つです。9 月から 10 月に白色～うすいピンク色の花を咲かせます。越谷市内では、梅林公園や出津第一公園などで見られます。



花を咲かせたフジバカマ

～ キタミソウ ～

【 キタミソウとは？ 】

埼玉県レッドリスト 絶滅危惧Ⅱ 類に登録されている、小さな多年草です。へら状線形で長い柄をもち、葉のわきに白色の小さな花を咲かせます。国内では、北海道、埼玉県、群馬県、茨城県などの泥湿地がある河川敷に野生しており、越谷市内では、中央市民会館近くの葛西用水付近で見られます。



キタミソウ

MEMO

MEMO

MEMO

ご家族のお車の整理でお困りの方へ

お車、そのままで大丈夫です

廃車・不動車も
無料で引き取り



不動車など
特殊な場合でも
お見積もり
無料

そのまま
現地まで
引き取りに
伺います

複雑な
名義変更も
一切お任せ
ください

おくるま手続き・引取りセンター

埼玉エリア全域対応

面倒な手続きもすべて代行いたします

 **0120-122-480**

しん ばい セロ

〒338-0004

埼玉県さいたま市中央区本町西5-5-7

運営元：中嶋自動車工業株式会社

古物商免許：埼玉県公安委員会 第431100023898号



ホームページからも
お問合せいただけます。
小さなことでもお気軽に
ご連絡ください！



姫神造園(有)

各種剪定・刈込一式、除草、消毒、薬剤散布等、
植木・造園のことならお任せ下さい。

◀ こんな時はお気軽にご相談ください! ▶

剪定は、樹木本来の特性を生かしながら、美しい樹形を作り、維持する為に必要です。

樹木の剪定 他

生垣、玉物など状況に適した手法や、施工方法でのお手入れをさせていただきます。

刈り込み 他

時期と生長の様子を見て適切に管理させていただいております。

草刈・芝刈・除草 他

様々なスペースやご要望に応じた植栽、外構を施工

植栽・移植 他

病害虫は年に数回、発生する時期があります。

病害虫の防除 他

大きくなるとハチの数も増えるため早い駆除が必要です。

ハチ駆除 他



お見積り・ご相談無料

姫神造園有限公司

〒333-0803 埼玉県川口市藤兵衛新田173-2

☎048-298-4848

FAX: 048-298-4849 MAIL: info@himekamizoen.jp

許認可番号: 埼玉県知事 許可(般-23) 第60511号

HPはこちら



埼玉越谷の公園施工管理

越谷の環境を考え、 人と自然の共生を目指す

公園施工・管理

土木工事

造園・エクステリア

☎048-965-4015



株式会社サンエー緑化

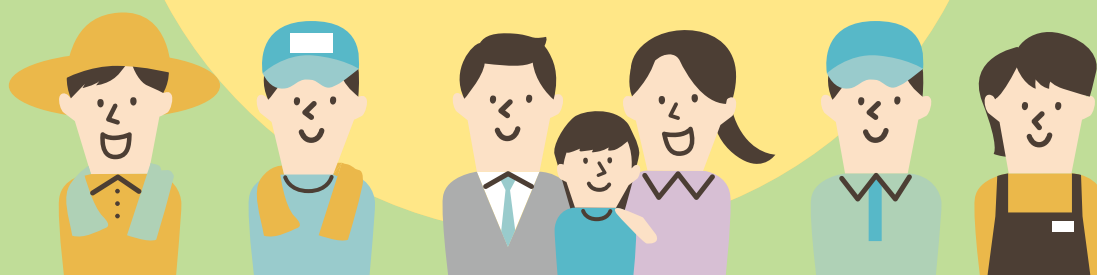
〒343-0851 埼玉県越谷市七左町8丁目308番地1

埼玉県知事許可(般-3) 第38715号



みんなで守ろう！

ここで暮らす
私たちの生活を



【このガイドで紹介している主な動植物】

カラス・ハト・ムクドリ／アライグマ・ハクビシン・タヌキ／クビアカツヤカミキリ／セアカゴケグモ／
イネカメムシ／ミシシippアカミミガメ・アメリカザリガニ／アメリカオニアザミ・ナガミヒナゲシ

【このガイドで紹介している主な希少植物】

コシガヤホシクサ・フジバカマ・キタミソウ

**駆除や追い払いを、住民だけで行わないでください。
必ず、お近くの自治体や専門業者にご相談ください。**

相談窓口

越谷市役所 環境政策課：048-963-9183

発行／鎌倉新書
配布エリア／越谷市